

みずほCustomer Desk Report 2019/08/14 号(As of 2019/08/13)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	105.43
TKY 9:00AM	105.39	1.1217	118.21	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	106.98	1.1229	119.58	1.2079	0.6756
SYD-NY Low	105.07	1.1171	117.69	1.2097	0.6818
NY 5:00 PM	106.75	1.1171	119.25	1.2042	0.6748
				1.2061	0.6797
NY DOW	26,279.91	372.54	日本2年債	-0.2900	▲2.00bp
NASDAQ	8,016.36	152.95	日本10年債	-0.2400	▲2.00bp
S&P	2,926.32	42.57	米国2年債	1.6696	9.30bp
日経平均	20,455.44	▲229.38	米国5年債	1.5848	9.94bp
TOPIX	1,486.57	▲17.27	米国10年債	1.7010	6.15bp
シカゴ日経先物	20,285	5	独10年債	-0.6105	▲1.45bp
ロンドンFT	7,250.90	24.18	英10年債	0.4910	0.35bp
DAX	11,750.13	70.45	豪10年債	0.9380	▲2.85bp
ハンセン指数	25,281.30	▲543.42	USDJPY 1M Vol	7.58	▲0.80%
上海総合	2,797.26	▲17.73	USDJPY 3M Vol	7.83	▲0.56%
NY金	1,514.10	▲3.10	USDJPY 6M Vol	7.56	▲0.50%
WTI	57.10	2.17	USDJPY 1M 25RR	-1.58	Yen Call Over
CRB指数	173.09	2.46	EURJPY 3M Vol	8.08	▲0.54%
ドルインデックス	97.81	0.43	EURJPY 6M Vol	7.92	▲0.41%

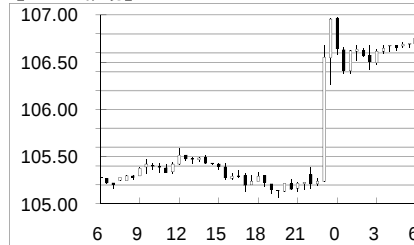
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月13日	15:00	独 CPI(前月比/前年比)・確報	7月 0.5%/1.7%	0.5%/1.7%
	18:00	独 ZEW調査現状指数/景気期待指数	8月 -13.5/-44.1	-6.3/-28
	18:00	欧 ZEW景気期待指数	8月 -43.6	-
	21:30	米 CPI(前月比/前年比)	7月 0.3%/1.8%	0.3%/1.7%

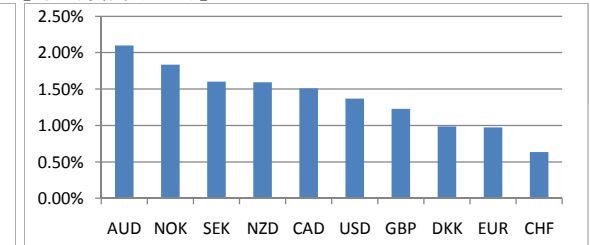
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
8月14日	11:00	中 鉱工業生産(前年比)	7月 6.0%	6.3%
	11:00	中 小売売上高(前年比)	7月 8.6%	9.8%
	15:00	独 GDP(前期比)・速報	2Q -0.1%	0.4%
	16:30	豪 デベラ豪中銀副総裁 講演	-	-
	17:30	英 CPI(前月比/前年比)	7月 -0.1%/1.9%	0%/2%
	17:30	英 CPIQ(前年比)	7月 1.8%	1.8%
	18:00	欧 鉱工業生産(季調済/前月比)	6月 -1.5%	0.9%
	18:00	欧 GDP(前期比/前年比)・速報	2Q 0.2%/1.1%	0.2%/1.1%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	105.00-107.50	1.1100-1.1250	118.00-120.00

【マーケットインプレッション】

昨日のドル円は上昇。アジア時間、105円台前半では押し目買い意欲も強く、底堅く推移したが欧州時間入り際には再度リスク回避的な値動きとなり一時105.07まで下落。しかしながら、前日の安値となる105.05を下抜けることはなく105円台前半で推移。北米時間入り後に米国が中国からの一部輸入品への関税措置発動を延期するとの報道を受け一時106.96まで大きな値幅を伴って上昇。106円台後半では上値重く、一部上昇幅を縮小し106.75レベルでクローズ。本日のドル円は上値重い値動きを予想。昨日は米中貿易に関する報道を受け大きく円安が進行したものの、先週6日につけた107.11を上抜けておらず、徐々に上値を切り下げている。107円台では実需の売りも予想されるため、積極的に上値を追う展開とはなりにくいものと考え。

東京	東京時間のドル円は105.39レベルでスタート。節目となる105.00を目前に一旦は押し目買い優勢となり底堅く推移。105.58まで上昇したが、上値を追う展開とはならず東京時間午後にかけては反落。じりじりと上値を切り下げ105.28レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、105.28レベルでオープン。特段の材料はなく他市場のリスクオフを引き継ぎ上値重い推移だった。105.07まで売られるも反発し結局105.22レベルでNYに渡った。本日のドルは、1.2060レベルでオープン。朝方はやや値を下げる立ち上がりだったが英6月雇用統計が堅調な結果となると買い戻され1.2088まで上昇し1.2085レベルでNYに渡った。(ロンドン・トル・フリー00531 444 179 神田)
ニューヨーク	海外市場のドル円は、米中貿易問題をはじめ、複数の懸念材料が意識される中、105.30近辺で上値重く推移し、105.22レベルでNYオープン。朝方は米7月消費者物価指数が予想を上回るとドル買いで反応し、105.39まで上昇するが、滞空時間は短く、往って来いの展開となる。その後、「中国の劉副首相が米国のライトハイザー・USTR代表とムニオン財務長官と協議」、「中国と米国は2週間以内に再び電話会議を予定」、「米国は一部の対中追加関税発動を12月15日まで延期する」とのヘッドラインが立て続けに流れると、リスクオフの買いが巻き戻され、106円台を回復。また、米金利や米株の上昇に買いが加速し、一時106.98まで上昇。その後、トランプ米大統領が香港デモに関して「中国政府が軍隊を香港との境界に移動されている」と述べたことから、香港デモの激化懸念を受けて、106.41まで反落。売り巡りは、106.60円近辺で底堅く推移し、106.75レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.1200近辺でのみ合ひでスタート。独8月ZEW景況感指数は2012年以来の低水準となり、予想を大きく下回ったものの、ユーロドルの反応は限定的だった中、方向感の無い推移が続き、1.1215レベルでNYオープン。朝方は米7月CPI発表前に高値1.1229をつけるが、その後、米中通商協議に関するヘッドラインが流れるとドルが買い戻され、1.11台後半のレベルに沈む。午後じりじりと下落が続き、結局、安値1.1171レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することをお断じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:綱島